

3灘 Jr.の学習が始まって3ヶ月が経ちました。学習のペースはつかめてきたでしょうか。

これから文章の方もどんどんとレベルが上がっていきます。知らない言葉もたくさん出てくると思いますが、辞書を使って意味を調べるようにしてください。今月もしっかりと頑張ってください。

◆第10回 説明文①／慣用句②

練成問題では説明文を学習します。説明文を読むときは、まず何について説明された文章なのかを読み取るようにしてください。また、文章を最後まで読み終えたら、結論が何だったのかを考えましょう。話題と結論を理解してから、設問を解き進めるようにすることが大切です。

語句は慣用句を学習します。体にまつわる慣用句、動物名の入った慣用句は入試でよく出題されます。意味とともに覚えるようにしましょう。同じ言葉の入った別の表現や、同じ意味の慣用句も、ことわざ・慣用句辞典を使って調べてみましょう。

◆第11回 説明文②／漢字パズル①

練成問題では説明文を学習します。何について説明した文章なのかをしっかりとらえるようにしましょう。また、その文章を通して筆者が伝えたい内容が何なのかを考えてください。形式段落ごとに内容をまとめる練習をしてみると力がつきます。

語句は漢字パズルを学習します。漢字を見て、その漢字を含む熟語をどれだけたくさん思いうかべられるかが勝負です。かなり難しい問題もありますが、楽しみながら取り組んでほしいと思います。

第10回の授業では、平面図形のうち、角度の問題について学習します。2種類の三角定規の形、折り返すということの意味などの認識を練習していきます。

第11回の授業では、文章題のうち消去算について学習します。消去算に必要な置き換えかた、そろえかたを中心に練習していきます。

◆第10回 平面図形Ⅱ 三角定規・折り返し

まず、三角定規には2種類の形があるということと、その内角について認識します。また、三角定規の2種類の形は、正三角形、正方形を2つに分けた形でもあるということも知っておきます。大人にとっては2種類の区別は簡単につきますが、学習し始めの小3生にとっては結構混乱することが多くなりますので、細長いものかそうでないのかということをしっかり押さえるようにしてください。あと、折り返しについては、折る前のこの部分が折った後にここにきているので、その長さや角度が等しいということを押さえます。

① 例題と練習

例題はすべて動画が用意されています。

例題1 三角定規の2種類の形をしっかりイメージしていただきます。

例題2 2種類の三角定規を組み合わせたときにできる図形の色々な角度を求める問題ですが、単純に足し算で求まるようになっています。

例題3 例題2と同じく、2種類の三角定規を組み合わせたときにできる図形の角度を求める問題ですが、引き算などやや複雑な手続きが必要になる問題です。

例題4 簡単な折り返しの角度の問題です。どの角度とどの角度が等しいかということと、あと、平行で等しくなる角度に注意をすると、簡単に解くことができます。

各例題の動画を見て理解したら、必ず練習に自力で取り組んで、答え合わせをし、間違っていたら、どこで間違ったかをよく確認して、再度解き直しをするということを徹底してください。わかりにくくなった場合は、再度例題の動画を見てみましょう。

② 復習問題

復習問題は、基本的に例題・練習とほぼ同じタイプの問題が並んでいますので、例題と練習をすべて済ませた後、取り組んでもらいたい宿題としています。

①と②が例題2の、③が例題3の、④と⑤が例題4のそれぞれ改題になっています。

解いたあと答え合わせをして、間違っていたら間違ったところを確認して再度解きなおすというのは、練習と同じです。難しく感じる場合は、対応する例題の動画を参考にしてください。

③ 練成問題

練成問題も、解説動画がすべて用意されています。

① 例題 2 に関連する問題になります。どの三角形などに注目するのかをしっかりと考えましょう。

② 同じく例題 2 に関連する問題ですが、さらに重ね方が複雑になります。

③ それほど複雑ではないのですが、角度の和差に慣れていないと、難しいと感じるかもしれません。

④ 例題 1, 2 と同じく、どの三角形に注目するのかがポイントになります。

⑤, ⑥ 折り返しの問題ですが、平行な直線と、等しい角度をしっかりと押さえましょう。重なった部分が二等辺三角形になるということも知っておくといいと思います。

練成問題については、すべて解説動画がありますので、動画を見て理解したうえで、もう一度自分で解いてみることをお勧めします。

今回の練成問題で特に必ず押さえておいていただきたい問題は、②, ③, ④, ⑤となります。

◆第 11 回 文章題Ⅱ 消去算

消去算の典型題を中心に学習することにより、基本的な解法に慣れていただきます。必ずノートに式を書いて、考えるようにしてください。

① 例題と練習

例題はすべて動画が用意されています。

例題 1 てんびんを題材にして、「つりあっているとき、両方に同じものをたしても(または引いても)、両方に同じ数をかけても、つりあった状態は変わらない」ことを理解します。

例題 2 例題 1 と同じくてんびんを題材にして「同じ重さであれば、置き換えてもつりあった状態は変わらない」ことを理解します。

例題 3 基本的な消去算の解法を学習します。片方がそろっているのでそろっていない方の差を見ます。

例題 4 「片方の個数をそろえる」という式の変形が必要な消去算の解法を学習します。

各例題の動画を見て理解したら、必ず練習に自力で取り組んで、答え合わせをし、間違っていたら、どこで間違ったかをよく確認して、再度解き直しをするということを徹底してください。わかりにくくなった場合は、再度例題の動画を見てみましょう。

② 復習問題

復習問題は、基本的に例題・練習とほぼ同じタイプの問題が並んでいますので、例題と練習をす

べて済ませた後、取り組んでもらいたい宿題としています。

①と②が例題 1 の、③と④が例題 2 の、⑤と⑥が例題 3 の、⑦と⑧が例題 4 のそれぞれ改題になっています。

解いたあと答え合わせをして、間違っていたら間違ったところを確認して再度解きなおすというのは、練習と同じです。難しく感じる場合は、対応する例題の動画を参考にしてください。

③ 練成問題

練成問題も、解説動画がすべて用意されています。

- ① 同じかごに入れて重さをはかっているので、全体の重さの差がボールの個数の差になっていることに注目します。
- ② みかんとりんごの別々の値段を出す必要がないので（出すことは可能ですが）、いつものように式の差をとるのではなく、2つの式を足すと楽に答えを出すことができます。
- ③ ノート 1 冊の値段とえんぴつ 2 本の値段が等しいことをうまく利用します。
- ④ ③と同じくショートケーキ 1 個の値段とモナカ 4 個の値段が等しいことを利用します。
- ⑤ 例題 4 の考え方をういて解きます。（なしの個数をそろえます。）
- ⑥ (1)で求めた A と B の重さの関係を(2)で利用します。
- ⑦ ㊦を求める方法は高学年でもよく使います。㊦が出せれば、㊥と㊧は平易な問題です。

今回の練成問題で特に必ず押さえておいていただきたい問題は、①, ③, ④, ⑤となります。